

喜代美の

子どもが育つ 魔法の習慣

vol.8

ママのお悩み
子どもの友達が、
勝手に冷蔵庫をあけます。
注意してもいいの？

親も子供も『ルール』を守って 楽しく遊ぼう！



子どものころは、しても「よいこと」と「いけないこと」の区別はなかなかできません。さまざまな体験を通して身に付けていくものです。だからこそ、子どもにそれを教えていくことが、大人の役割です。とはいうものの、他人の子供が、周りに迷惑をかけているのを見たら、果たして皆さんは注意することが出来るでしょうか？出来る方もいらっしゃると思いますが、たいていの方は出来ないでしょう。注意した方がいいと分かっているながらも、そばに親がついていたり、ましてや親が友達であったりすると、注意したり叱ったりはしにくいものですね。

私は子どもの頃、よく友達の家に遊びに行き、お泊りもしていました。

友達の家に行くと、雰囲気はもちろん、食べるものや会話、そして決まり事も違って、とても新鮮だったことを覚えています。友達の家に遊びに行くことはすなわち、その家のルール(決め事)に従うことになります。ルールとは、たとえば、

- ・挨拶はきちんとする
- ・帰る時間を決める
- ・片づけをしてから帰る

などです。同じように子どもの友達が家に遊びに来るときは、ルールを決めてみてはいかがでしょうか。そして遊びに来たときに、「今日もルールをまもって楽しく遊ぼうね〜!」と声掛けをするのです。今回のご相談は「冷蔵庫を勝手に開けてしまう」ということですが、「冷蔵庫は勝手に開けない」というルールを決めればよいのです。注意する、叱るとなると、少しきついイメージがあつてなかなか言いにくいかもしれません。でも、楽しく遊ぶためのルールであれば、「ルールを守ろうね!」と言いやすくなるし、子どももしっかりルールを守ってくれますよ。

嫌な思いを我慢するのではなく、よい関係を継続するために、ほんのちよつと伝え方をくふうしてみましょう。子供も友達も、そしてママも楽しく時間を過ごすことができるはずですよ。



profile

山内 喜代美 /
人材育成コンサルタント、個人・企業のブランディング
およびセミナー・講座の企画プロデュースを行う。
現在中学校1年生と小学校1年生の男の子の母。
(株)ドリームワークス <http://dreamworks-seminar.co.jp/>

